

シンポジウム 関東・東海地方の旧石器時代研究の現在

日時 2025年9月27日(土) 10:15: ~ 17:10
28日(日) 10:00: ~ 16:00

会場 明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント 多目的室

詳細・参加申込は石器文化研究会ホームページ

<https://sekki.jp/archives/323> へ

一日目

諏訪 順 南関東の旧石器編年の学史的検討
酒巻孝光 星野遺跡発掘から60年のいま(日本列島の中期旧石器)
鈴木秋平 後期旧石器時代前半期前葉における『狩猟具』のコンセプト~型式論・機能論の方法論的再整理を通して~
白石浩之 基部加工を主体としたナイフ状石器の様相 -AT 下位の石刃石器群との関連性-
宇井義典 南三里塚宮原第1遺跡の現在 -下総台地の後期旧石器時代前半期を考える-
西井幸雄 2つの環状ブロック群 -清河寺前原遺跡と津久井城馬込地区-
麻生順司 相模野旧石器時代前半期の再整理
鈴木美保 南関東の石器群編年とMISステージ2の環境変動
小原俊行 後期旧石器時代後半期前葉の編年研究 -関東平野北西部
井関文明・脇 幸生 相模野台地における最終氷期最寒冷期前後の諸活動
高屋敷飛鳥 相模野台地における砂川期からナイフ形石器終末期にかけての石器群の様相と年代

二日目

伊藤 健 悉皆集成による武蔵野編年第IIb~IV期の再構成
富樫孝志 静岡県磐田原台地における旧石器時代石器群編年の再検討
諸星良一 関東地方における北方系細石刃石器群
長澤有史 相模野台地における狩猟具の様相 -LIS層出土石器群を中心とした予察-
お昼 ポスターセッションコアタイム
堤 隆 下茂内尖頭器石器群の放射性炭素年代とその編年的位置付け
討論
ポスターセッション
絹川一徳 瀬戸内技法研究の現在 -東日本への波及を考える
野口 淳 「石槍」の三次元形態測定学
前嶋秀張 緑色凝灰岩および緑色岩を使用した石斧の分布と原産地の調査
天野早苗 下河原崎谷中台遺跡の角錐状石器を伴う石器群について
金 彦中 ハンマーストーンの分析と石器製作技術と動作復元 -東日本の後期旧石器時代前半期石器群の諸事例から-
尾崎沙羅 叭原遺跡の再整理作業 -その手順と成果-
野口智輝 相模野台地における男女倉型有槌尖頭器の衝撃剝離痕跡
矢野賢太 剥片尖頭器石器群における原産地的様相の検討 -熊本県岩清水遺跡の資料を通して-



主催 石器文化研究会
共催 明治大学黒耀石研究センター